

岩見沢市の 花・木・鳥



木 こぶし



鳥 はと



市開基 85 年を記念して、岩見沢を象徴した市の将来性を現すような花・木・鳥を選定し、緑のまちづくりとともに自然の景観を保持し、詩情あふれる心豊かなまちにするため、市民の投票を基に学識経験者による審査のうえ、昭和 43 年に決定しました。

決定までの経緯

岩見沢市、北村、栗沢町が合併をする協議のなかで、市民憲章は、現市町村民憲章のうち1つを選択するか、若しくは新たに新市民憲章を策定する、そして、市の花・木・鳥も、新市において検討することに決まっていたため、合併後、岩見沢、北村、栗沢町地区からそれぞれ3名ずつを、岩見沢市民憲章等検討委員として委嘱し、検討を重ねました。

その結果、市民が一体となってまちづくりを進めるという観点に立ち、旧岩見沢市の市民憲章を選択し、これを新市の市民憲章とする。「新市の花・木・鳥は、旧岩見沢市の花・木・鳥を選択する。」という答申が市長に提出され、この答申を受けて、市は岩見沢市民憲章と花・木・鳥を正式に決定しました。

この決定には、合併を機に新しい気持ちで、市民憲章や花・木・鳥が市民の皆さんに愛され、また、まちづくりのための取り組みが、一層推進されるよう願いが込められています。

市は、今後、各団体等と協力し、市民憲章の普及に努め、啓発活動を行っていきます。